

(仮称)「熊本県南アリーナ」建設八代誘致活動 趣意書

昨年7月4日に発生した熊本豪雨の傷跡も自治体や関係各位の懸命な復興支援のおかげで、住民の方々が再び立ち上がる姿をマスコミ等で報道されるようになりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の猛威で私たちのまち八代も外出自粛要請の影響で飲食業や宿泊業など過去に例を見ない疲労感が漂い、未だ解決の糸口が見いだせず、ウィズコロナに向けて新たな八代のまちをどのように描くか模索が続いております。

一方で、八代に新たなまちづくりの中核となる大規模なスポーツ・エンターテインメント・イベント・催事等が開催できる施設がなく、また、八代厚生会館は文化事業としての施設の役割を終えようとしています。そのためにも八代地域における文化事業の拠点としての役割が求められております。

このような中、熊本市に本拠をかまえ設立10周年を迎えるプロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」が2024年度シーズン開始までに、B1ライセンス取得を目指すことが発表され、その条件の一つである「観客5000人以上の専用アリーナを確保できていること」に向けて活動を開始されています。

そこで、B1昇格を目指す「熊本ヴォルターズ」がアリーナを確保するため、去る8月28日に開催されたシンポジウム「熊本の未来をアリーナで創ろう」で紹介された候補地条件を検証しますと、『建設地周辺環境と住民の応援態勢が不可欠である』とありました。

その結果を受け、「熊本ヴォルターズ」は9月から準備に取り掛かり、現在複数の候補地が検討されているところです。

八代は新幹線、在来線、高速道インターチェンジ、八代外港、くまモンポートなど東西南北の交通網が整備され、最高の立地条件が備わっており、文化施設も兼ねた複合アリーナを起点に人流の増加や地域活性化が期待できるところです。

誘致の申請主体は八代市になりますことから、私たちは積極的にバックアップ体制を整えていきたいと考えています。

つきましては、(仮称)「熊本県南アリーナ」の建設に向けて支援するため、極めてタイトなスケジュールではありますが、11月中旬の申請締め切りまで、最大限の努力を行います。八代市民の盛り上がりがかぎを握りますので、署名運動や街頭イベント等の企画に何とぞご協力、ご参加のほどよろしくお願いたします。

署名依頼時の確認事項

- ① 八代市内在住者だけでなく、市外・県外在住の方にも依頼できます。
- ② 未成年の方にも依頼できます。
- ③ 住所記入時、同居の人で“上と同じ”“同上”“々”等と書きますが、必ず、それぞれ記入して下さい。
- ④ 県外の方に依頼する時、用紙はFAXで送信されてもいいですが、記入後は、FAXではなく、郵送又は持参して下さい。
- ⑤ コピーではなく、必ず原本を提出下さい。
- ⑥ できるだけ各団体で取りまとめて提出（持参・郵送）ください。

【問い合わせ先】

(仮称)「熊本県南アリーナ」建設八代誘致準備委員会
事務局 (金谷) 080-8591-9338
(村橋) 090-1870-8622

【送付先】

〒866-0841 八代市緑町11-1
八代トヨオカ地建アリーナ
(NPO法人 八代市体育協会) 内

(仮称)「熊本県南アリーナ」を八代に誘致しよう！請願署名

八代市長 中村 博生 様

『請願目的』

今回、B1昇格を目指す熊本ヴォルターズはアリーナを確保するため、9月から準備に取り掛かり、令和4年1月中に、文化施設兼ね備えた複合アリーナ建設候補地の選定を行う予定で、建設候補地を探しております。

八代は新幹線、在来線、高速道インターチェンジ、くまもんポートなど東西南北の交通網が整備され、最高の立地条件が備わっており住民の盛り上がりを最大化できれば、可能性は十分にあると考えています。そのために、署名活動を行いますので、ご協力をお願いします。

『請願内容』

私たちは(仮称)「熊本県南アリーナ」を八代への誘致を求めます。

	氏名	住所 (同じ住所でも、それぞれ書いて下さい)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

※ 個人情報事務局で適切に管理し、署名提出以外の目的では使用しません。

〈問い合わせ先〉

(仮称)「熊本県南アリーナ」建設 八代誘致準備委員会

事務局 (金谷) 080-8591-9338

(村橋) 090-1870-8622

〈署名送付先〉

〒866-0841 八代市緑町11-1

八代トヨオカ地建アリーナ(NPO法人 八代市体育協会)内

〈提出方法〉 上記の八代市体育協会事務局にお持ち頂くか、郵送をお願いします。

〈注意事項〉 ◎ コピーやFAXは無効になります。住所は番地まですべて記載ください。

◎ 署名は、八代市以外の方でも可能です。

(仮称)「熊本県南アリーナ」を八代に誘致しよう！請願署名

八代市長 中村 博生 様

『請願目的』

今回、B1昇格を目指す熊本ヴォルターズはアリーナを確保するため、9月から準備に取り掛かり、令和4年1月中に、文化施設を兼ね備えた複合アリーナ建設候補地の選定を行う予定で、建設候補地を探しております。

八代は新幹線、在来線、高速道インターチェンジ、くまもんポートなど東西南北の交通網が整備され、最高の立地条件が備わっており住民の盛り上がりを最大化できれば、可能性は十分にあると考えています。そのために、署名活動を行いますので、ご協力をお願いします。

『請願内容』

私たちは(仮称)「熊本県南アリーナ」を八代への誘致を求めます。

事業所(者) 団体名	
事業所(者) 団体役職名、代表者名	
事業所(者) 団体住所	〒
連絡先	TEL FAX

※ 企業情報は事務局で適切に管理し、署名提出以外の目的では使用しません。

〈問い合わせ先〉 (仮称)「熊本県南アリーナ」建設 八代誘致準備委員会
事務局 (金谷) 080-8591-9338
(村橋) 090-1870-8622

〈署名送付先〉 〒866-0841 八代市緑町11-1
八代トヨオカ地建アリーナ(NPO)法人 八代市体育協会)内

〈提出方法〉 上記の八代市体育協会事務局にお持ち頂くか、郵送をお願いします。

〈注意事項〉 ◎ コピーやFAXは無効になります。住所は番地まですべて記載ください。
◎ 署名は、八代市以外の方も可能です。

事業のビジョン

熊本にアリーナを創ることで、元気のある熊本にする！

事業の背景

熊本地震から5年…交通インフラなど復旧は進んでいるものの、現在も仮設住宅に住まわざるを得ない方も多く、まだまだ熊本地震の爪痕は大きく残っています。ようやく国道57号線の開通や熊本城天守閣復旧など、インバウンド需要を増やし熊本の復興を期待する矢先、新型コロナウイルス感染症の拡大。一年以上経過した現在でも、いつ終息するかわかりません。さらには昨年7月4日に多くの被害をもたらした県南豪雨災害。熊本県は大きなダメージを受けています。

また観光の視点で見ると、世界最大級の阿蘇カルデラや、2018年ユネスコ世界文化遺産の構成資産の1つとして登録され注目されている歴史的にも有名な天草など、全国有数の観光地があるにも関わらず熊本が持つ魅力を最大限に発信できていないと感じています。*2019年全国延べ宿泊者数ランキングでは24位(九州内4位)という結果

このような背景から、熊本にアリーナを建設することは、アリーナを核とした熊本県スポーツ市場の拡大を図ることはもちろんのこと、有名アーティスト公演の誘致や、多様な世代が集う交流拠点として熊本県を元気にできると考えています。また、災害時や緊急事態発生時の避難拠点としての機能を果たす見立てでもあることから、アリーナを建設することは熊本を元気にする起爆剤になりえると考えています。

また、スポーツ庁では「スポーツ市場規模(2015年:5.5兆円)を2020年までに10兆円、2025年までに15兆円に拡大することを目指す」全国のアリーナについて、多様な世代が集う交流拠点として、2017年から2025年までに新たに20拠点を実現する」というKPI(重要業績評価指標)を掲げており、この施策に則り、熊本にアリーナを建設したいと考えています。

事業コンセプト

①熊本を担う人材の育成

室内スポーツ競技の開催及び国内外トップリーグ・国内最大級イベントに触れることで、熊本の子どもたちが夢を持って成長していく機会を創出することができる。また、教育機関や地域と協力し、楽しい熊本を作ることで熊本を担う人材の育成につなげる。熊本県内の企業・行政と連携し雇用を創出することで、熊本からの人口流出を防ぐ。

②社会的効果・地域への効果

多世代にとって利用しやすい施設になることで県民の健康増進、地域の活性化につながり地域コミュニティを創出する。

③観光経済効果

観光都市熊本が誕生し、全国からお客様に熊本に来てもらうことにより観光を含め、熊本の経済(ホテル・交通・県産物・飲食店)に莫大なる波及効果をもたらす。

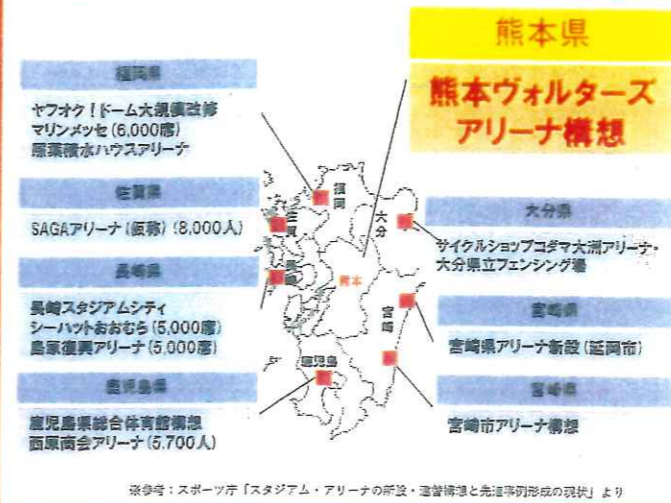
④災害時、緊急事態発生時の避難場所

新アリーナはこれまでにない収容人数になることから災害時・緊急事態発生時には避難拠点としての機能を果たす。

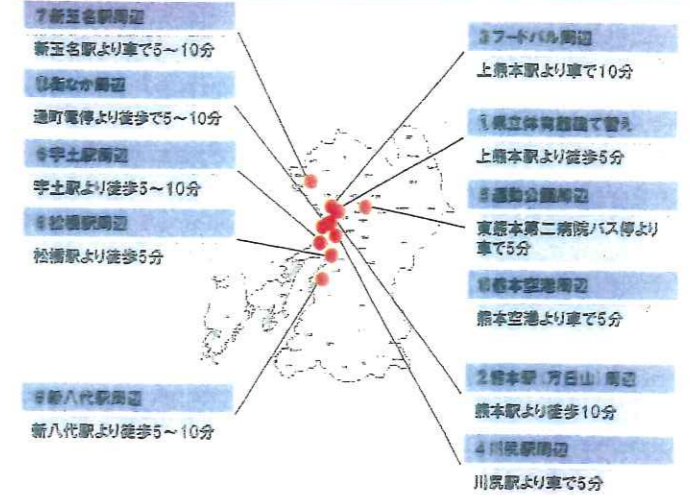
施設整備・運用時の関係者(ステークホルダー)

関係者	役割(想定)
熊本県などの公的機関	公的支援(土地提供)
熊本ヴォルターズ	ホームアリーナ活用と連携
地元関係業者	施設整備・運営協力等
スポンサー	施設建設費・運営支援

九州のアリーナ(構想含む)



ヴォルターズが考える熊本県内の候補



事業スケジュールと2021年度に計画している事項と進捗状況

	2021年度							2021年 計画項目	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	8月	9月
基本構想	進捗							「熊本の未来をアリーナで創ろう」シンポジウム開催	各行政・自治体との協議
基本計画		進捗							
基本設計 実施設計			進捗						目録・他業で候補を募集
建設				進捗					アリーナを創るための意見交換会
運営開始					進捗				建設地決定
								1月	スポーツ庁 「調査費補助金」申請締め切り
								2月	
								3月	「調査費補助金」採択予定

施設の利用用途・利用方法の想定・経済波及効果

【現時点で想定される年間稼働日数】年間のアリーナ稼働日数 261日 (設営・撤去の日数を含む)
(年間365日-設営撤去日等16日)×稼働率74.8%=261日

バスケットボール Bリーグ他	32回	11回(設営・撤去込み)19日(12日-19日) U15, U18: 全県大会 24日 スクール開催ほか、年間大会 10日 Bリーグプレーオフ又は、チャンピオンシップ等の日程調整(設営・撤去込み)17日
バドミントン 卓球・柔道 相撲・剣道・空手 ハンドボール バレーボール スケートボード ストリートダンス他	30回	各スポーツ大会(設営・撤去込み) 延べ40日間
eスポーツ	2回	県大会・予選会2連戦(設営・撤去込み) 3日間・2回=6日間
コンサート	8回	8回(設営・撤去込み) 7日間×8回=56日
コンベンション	10回	10回(設営・撤去込み) 3日間×10回=30日
行政主催催事	10回	10回(設営・撤去込み) 2日間×10回=20日
大規模集会	3回	年間3回(設営・撤去込み) 9日間×3回=9日

●フラットアリーナ(青森県八戸市)の例
→詳細 <https://bit.ly/2SP0WXX>
市は2020年度から30年間にわたり年間1億円(税別)の利用料を支払う対価として、年2500時間の利用枠を得る。
-ネーミングライツ(施設命名権)の導入も検討

<想定される1コンサート開催あたり>
●来場者5,000名(6割が県外者)
・宿代:15,000円・食事代:12,000円
・現地での交通費:4,000円
・お土産代:3,000円
経済波及効果:1億2百万円(1興行あたり)

年間の経済波及効果:約50億円